

世界に羽ばたく島原半島ジオパーク

島原半島ジオパークを楽しむために

～ 市民誰もが「ジオガイド」第1回 ジオサイト「雲仙岳災害記念館」～

今月から「市民誰もがジオガイド」と題して、毎月おすすめのジオサイトを紹介します。世界が認めたジオパークをぜひ楽しんでください。

1回目のジオサイトは、島原市にある雲仙岳災害記念館です。

雲仙岳災害記念館は、見て・触れて・遊びながら体験できる日本唯一の「火山体験ミュージアム」ですが、実は島原半島ジオパークのコア施設でもあります。無料ゾーンでは、ジオパークについてわかりやすく解説してあるだけでなく、ジオサイトに関するチラシや資料を手に入れることができます。また、島原半島ジオパーク事務局も館内にはありますので、ジオパークに関することはお気軽にお尋ねください。



記念館の長井さんです。火山博士でもあるので何でも相談してください。



雲仙岳災害記念館 ☎0957(65)5555

□住所 島原市平成町1-1
□利用時間 9:00～18:00(入館は17:00まで)

年中無休

□料金 一般(団体)
大人…1,000円(800円)
中学生…700円(560円)
小学生…500円(400円)



島原半島ジオパークキャラクターを利用しませんか？

新しく決定した島原半島ジオパークのキャラクター。事前に許可をとれば、皆さんの利用が可能です。どんどん利用して、半島外へ、世界へ発信しませんか？

利用料は無料ですが、営利目的の利用は、有償(利用許諾物件1件につき年度毎1万円)となります。

利用を検討している人は、まずはお問い合わせください。

☎島原半島ジオパーク事務局 ☎0957(65)5540

<http://www.unzen-geopark.jp/>

※ホームページからも申請様式をダウンロードできます。

Qさんの南島原市日記 ～リゾートのような南島原市～

皆さん、こんにちは(大家好!)
国際交流員の邱華月です。

今月から、中国の事情や私の南島原市での生活を皆さんに紹介します。

南島原市は、とても静かできれいなところですね。週末を利用して、自転車であちこちを走りますが、まるでリゾートです!山の緑と海の青のコントラスト、それにたたく民家。とりわけこの庭も花がいっ

ぱいなのに驚きです。昼間は、庭で子どもたちと高齢者が穏やかな陽差しの中を楽しみ、夕方になると、畑仕事を終えた人たちが満足そうに帰宅する。夜は、町中が静かに、海の音を聞きながら眠りにつく。

それはまるでリゾート。この地で過ごす1年間が、今から楽しみです。

皆さん、自転車に乗った私を見かけたら声をかけてくださいね。



↑自転車で口之津に向かう風景



←滝祭り。そうめんおいしかったです。



南島原市から世界遺産を!

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

天正遣欧少年使節とその目的



正使・千々石ミゲル



正使・伊東マンショ



副使・中浦ジュリアン



副使・原マルチノ

少年使節は「ウルバノー・モンテ」(現代記)より

4人の少年は、口之津港を出発し、1582年2月20日、長崎の港から巡察師ヴァリニャーノ(※1)とともに出発します。ローマについた少年らは、ローマ教皇グレゴリウス13世と会ったあと、ぶじに日本に帰りました。

ヴァリニャーノは、未来のリーダーとなるべき日本人の少年たちに、じかにヨーロッパを見せ、日本で彼らにその様子を語り伝えさせようとした。その後、進んだ文明を見た少年たちは、日本に着いたあと、さまざまな場所でおどろきと共にその様子を伝え、結果としてキリスト教が広まる手伝いとなりました。ヴァリニャーノのもくろ

みは十分に成功したといえるでしょう。一方で、ローマに対しては、イエズス会が育てた自分たちの生徒を見せることで、日本の活動成果を知らせ、ローマ教皇やポルトガル国王からのお金などの助けを得ることが目的でしたが、これも一定の成果をあげたといえます。

九州のキリシタン大名ら(大友宗麟・大村純忠・有馬晴信)は、自分の代理(名代)として、4人の少年(伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアン)にローマに行くよう命じました。この出来事を天正遣欧少年使節と言います。

ヴァリニャーノは、未来のリーダーとなるべき日本人の少年たちに、じかにヨーロッパを見せ、日本で彼らにその様子を語り伝えさせようとした。その後、進んだ文明を見た少年たちは、日本に着いたあと、さまざまな場所でおどろきと共にその様子を伝え、結果としてキリスト教が広まる手伝いとなりました。ヴァリニャーノのもくろ

天正遣欧少年使節とは?

ヴァリニャーノのもくろみ



ヴァリニャーノ肖像
大村市松田毅一南蛮文庫

少年使節が世界に与えた影響とは

4人が影響を与えたのは、日本人ばかりではありません。「東方の4人の貴公子」たちとして、1585年中に書かれた本などは48種類、1593年には77種類にも及び、イタリア、ドイツ、フランス、ポーランド、スペイン、ポルトガルなどの各国に、

日本の存在を知らせました。また、使節は、日本最古の地図「行基図」の写しを、ローマへ持って行ったとされることから、少年使節は自分の国を知らせる一つの方法として、喜んで応じていたことが考えられます。

※1 巡察師とは:ローマに本部があるイエズス会の総長の特使として、世界各地のイエズス会士の布教活動を視察し、布教のための適切な指導を行う使命を与えられた人

* 出典:「旅する長崎学」キリシタン文化Ⅱ長崎文庫社



1595年刊行オルテリウス編のテイシェイラ作成の「日本図」
日本二十六聖人記念館蔵



集会委員会で初めて司会をした時のドキドキ
テーマ「1学期の思い出」 南島原市立口之津小学校 5年 石川松尾 琴音

新入部員と、たくさんバレーで遊んだよ
テーマ「1学期の思い出」 南島原市立口之津小学校 5年 石川松尾 花音

